

新婚世帯への支援拡充 いの町の観光

(名越屋沈下橋左岸の整備・紙の博物館)



森本 せつこ 議員

新婚新生活支援事業を県内で9市町村が導入して新婚世帯への支援を拡充している。町でも実施できないか。

池田町長

この事業は現在の要綱では、世帯所得340万円未満の新規に婚姻した世帯に、結婚に伴う住宅取得費用など補助率4分の3で、1世帯当たり24万円を上限として補助する制度である。新婚世帯の生活支援につながる施策と考えるが、県からの情報によると平成30年度は国の補助率が3分の2に下

がるか、それ以下になる可能性もあると聞いている。今後国から示される要綱と、町の財政状況も確認しながら前向きに検討していきたい。

森本議員

バスツアアの名越屋の沈下橋への立ち寄りなど、観光として光が当たっている。右岸の名越屋側は看板や東屋がある。一方、左岸の勝賀瀬側は、清流仁淀川の国道沿いの沈下橋として整備はどうなっているか。

水田土木課長

整備については、平成29年から国土交通省所管の交付金事業である社会資本整備総合交付金事業を活用して、一部道路改良工事に着手する予定となっており、平成32年度末までに全区間の完成供用を目指している。

森本議員

第10回高知国際版画トリエンナーレ展は883人で過去3番目の入場者と聞いたが、今後の取り組みは。

川崎産業経済課長

トリエンナーレ展の運営は、土佐和紙国際化実行委員会が行っている。紙の博物館においては「土佐和紙」と「版画」の相性の良さに着目して始まった本展の趣旨に立ち返り、版画家と和紙職人をつなぐ、パイプ役としての取り組みによる盛り上げを検討していく。



ダンボールで作った源太さん



名越屋沈下橋左岸

子育て支援

子育て世代包括支援センター！発達障がい早期発見・
マイナンバーカードの活用・認定こども園化

森本議員

平成30年度から子育て世代包括支援センターが設置されると聞いているが、職員の確保と設置場所、設置に向けての準備は十分か。また、認定こども園化は保育の質の低下やサービスの低下につながらないか。マイナンバーカードの活用で、保育園や幼稚園の入所申請など書類が不要になると聞いたがどうなっているか。5歳児健診についてどう考えているか。

澁谷ほけん福祉課長

開設後の相談内容などを勘案・検証し、より適切な支援につなげていくために、保健師以外の支援スタッフの拡充やサービスなどの確保・調整が必要になるのではないかと考えている。

5歳児健診は、3歳児健診の後、集団生活の中で見えてくる軽度の発達障がいの早期発見、また保護者が

発達障がい気づき、子どもへの適切な対応や就学に向けての必要な機会になると思う。実施にあたっては、医師などの人材確保、実施者の技術向上への支援、健診後のフォロー体制などいくつかの課題がある。

筒井総務課長

認定こども園化については保護者の意見も聞きながら、国の基準に沿って実施していく。保育士の募集については社会人枠として3年以上の業務経験者を平成30年初めに追加募集する。

マイナンバーカードの活用(情報連携に伴う添付書類の省略)については、申請書にマイナンバーの記載があり、その番号について確認が取れたものについて、児童手当では課税証明書が、児童扶養手当では住民票・課税証明書・特別児童扶養手当証書が省略可能となっている。